



「じんけん」ぽん (2015.3/No131)

発行日 2015/3/9

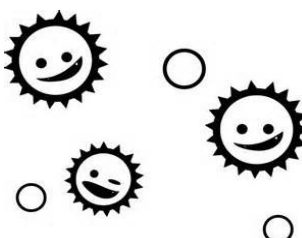
社会福祉法人生活クラブ
柏市地域生活支援
センターあいネット
〒277-0004
柏市柏下65-1
ウェルネス柏内
電話: 04(7165)8707

目次	
第4回あいネット 運営委員会	1
研修会「生活困窮 者自立支援法と支 援	2
第2回連絡調整会 議	3
柏うお〜か〜 「柏市非営利団体 連絡会」	3
お知らせ	4

～ひとこと～

3月になりました。

春が間近になってきまし
た。今月に入り、温かい日
も増えてきますが、花粉症
シーズンでもあります。対
策はしっかり取りましょう。



平成26年度 第4回あいネット運営委員会

2月18日に第4回あいネット運営委員会が開催されました。
運営委員会は、柏市地域生活支援センター事業の進捗報告や連携のあり方を検
証するために行われています。
今年度も柏市内の医療、福祉、就労、法律各分野の団体・機関や当事者にご参
加いただいております。
今回の議題は「生活困窮者支援への取り組みについて」。あいネットから、
制度の概要等、
事例を交えてのお話をさせて頂きました。
以下、お話の抜粋です。



・生活困窮者支援について

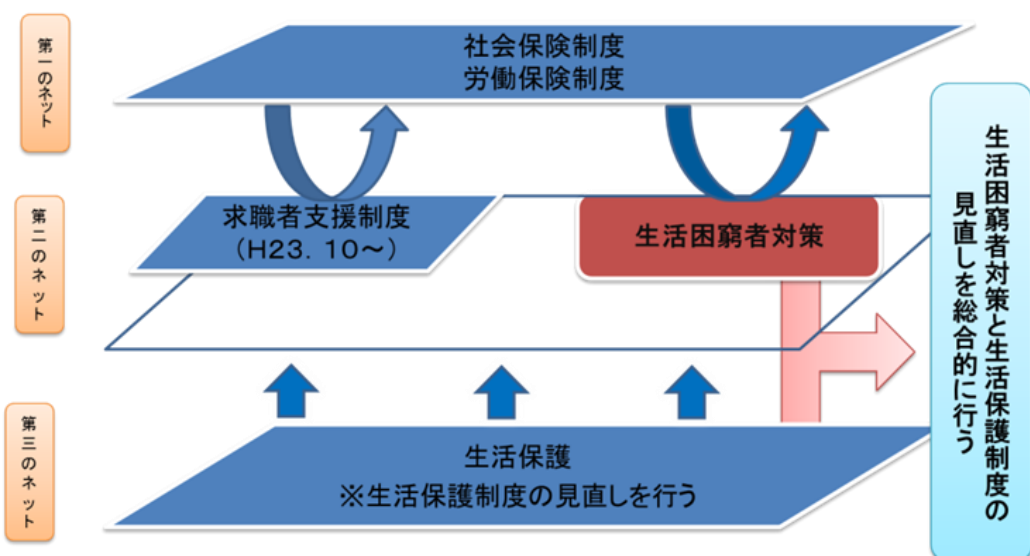
・なぜ生活困窮者支援制度が必要なのか

生活困窮者自立支援法（H27. 4施行予定）
＜生活困窮者を取り巻く状況＞
・生活保護世帯が年々増加傾向にある（H25. 11時点で215万人）
・生活保護世帯の内、稼働年齢層と考えられる世帯が10年前の3倍強に増加
・福祉事務所来訪者の内、生活保護に至らない者は、高齢者を含めて年間約40
万人
H25年度から生活困窮者自立促進支援モデル事業を全国で実施

・生活困窮者の具体的対象像

現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある
者（生活困窮者自立支援法第二条より）

・生活困窮者対策の全体像



・柏市の生活困窮者支援制度の全体像

自立相談支援事業（必須） 訪問/来所にて面談・支援計画を作成・地域づくりの機能を担う →あいネット
「本人の状況に応じた支援」 →居住確保支援（必須）
→就労支援準備支援事業（任意） ワークスコープから出向
（任意事業は支援調整会議 →家計相談支援事業（任意） VAIC-CCIから出向
にて検討の上プラン決定が必要） →学習等支援（任意）

・実績について＜生活困窮者支援＞（平成26年4月～12月）

・総合相談の新規相談件数 388件の内、自立相談支援事業利用者は132件である。
その内、プラン作成件数は55件。その内、就労に結び付いたのは19件である。
・就労準備支援事業の利用者は21名である。
・家計相談支援事業の利用者は7名である。



・支援調整会議

○支援調整会議の開催（月1回開催）
関係課が参集しプランの検討を行う。

・就労準備支援事業

・就労の意思又は経験が乏しい人（行動に移すことのできない方、生活リズム
が乱れている方）
・決まった時間に起床・就寝ができない、昼夜逆転している等、生活習慣の形成・改善が必要な人
・コミュニケーション能力など、社会参加能力の形成・改善が必要な人
※市町村民税非課税相当に該当する人 ※65歳以上の人は非該当
最長で1年間の計画的・集中的な支援により、一般就労を目指す

・家計相談支援事業の主な対象者

・失業や多重・過剰債務などにより家計の収支バランスが崩れている人。（いわゆる自転車操業）
・収入よりも生活費が多くお金が不足がちな人
・収入はあるが、家賃や水光熱費、税金等を滞納している人
・家計収支の改善や管理能力を高める支援を受けることが適当と判断される人。
家計収支の改善、家計管理能力の向上



・課題

1. 発見のネットワークをどう作っていくのか（SOSを出せない方等）
2. 就労体験の場をどう確保していくのか（これまでの就労経験がない方・乏しい方等）
3. 住まいの確保（連帯保証人がいない・緊急連絡先がない方等）
4. 家計相談の継続的な支援（動機づけが難しい等）

委員の方からは「家計相談について。意思決定が難しい」「金銭管理を行っているが、渡したお金までは制限はかけ
られない点が悩ましい所ではある」。
「発見のネットワークを広げていくことが課題だと思う」。「連携とは何か改めて考える機会になり、とても勉強になっ
た」。「生活に困窮している方はそれに付随して家庭での困りごとを多く抱えている方が多いと感じる」。等々、活発な
意見交換がなされました。

＜感想＞

来年度から生活困窮者支援制度が本施行されます。このような会議を通じて、地域の関係機関の方々と顔を合わ
せたうえで、今後の展望や地域福祉について検討、意見交換ができるということはとても貴重なことだと思います。支
援を行っていくうえで、地域との関係、家族との関係が希薄になっていると感じます。委員会の中でもでた発見のネット



研修「生活困窮者自立支援法と支援の実際」～社会福祉協議会主催～

標記の研修会は柏市社会福祉協議会主催の研修会で、今回は「生活困窮者自立支援法と支援の実際」というタイトルでした。講師として柏市保健福祉部生活支援課とあいネットが招かれ、2月14日（土）10-12時いきいきプラザ2階研修室で行われました。参加者は民生委員の方や、日常生活自立支援事業の生活支援員の方など、60名余の出席がありました。

来年度から本格施行になる「生活困窮者自立支援法制度」の周知はまだまだですが、実際に対象者になりうる方の相談や発信できない方の発見など、地域で活動されている方々にまずは理解してもらうことはとても大切ですので、よい機会をいただいたことを感謝します。



説明の後、質問の主なものは

Q1生活困窮者制度の対象者として、「現に経済的に困窮し、最低限の生活を維持することができなくなるおそれのある者」とあるが、どこまでのかがよくわからない。

A1国でも広義にとらえて相談を受けるようにとの文言がある。話をきちんと聞き、すぐに対象者と判断できる場合と今すぐ対象者ではないが継続して相談していく必要があるなどがある。そのために柏市では従来通り、総合相談ですべての相談を受け、その中で生活困窮対象者となる場合は、その事業対象者として数えていくことになる。

Q2総合相談と生活困窮者相談は二つに分かれるのか、支援も違うのか。

A2もともと総合相談で生活困窮相談を受けていた経緯があるので、支援手法としては変わらない。就労準備支援や家計相談を正式に利用する対象者は生活困窮の対象者に限定されるが、そうでなくても就労支援や家計相談は必要な場合はあり、総合相談として支援を行うことになる。

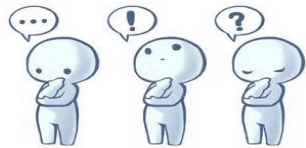
Q3フードドライブについて教えてほしい。

A3フードバンクでは、保存の効く食べ物の寄付を必要な人に届けているが、年4回期間限定で保存食品を集める拠点となるのがフードドライブとなる。お米、レトルト食品、缶詰など大変助かっている。その拠点はあいネット分室で市役所近くのだらば就労準備支援室となっている。もし寄付できる食品がある場合は年4回に限らず開所時間内に持参いただくことは可。周知について努力したい。

Q4民生委員OB・OGは経験豊かであり、貴重な人材なので、こういった事業に登録などして活用してはどうか？

A4今の時点で登録制というものはないが、地域の福祉力として力を発揮してもらえることはありがたい。この場での回答は出来ないが持ち帰りたい。

などなど、時間いっぱい質問が寄せられました。あいネットでは生活困窮を含む事業説明の機会があれば積極的に伺いたいと考えています。いまさら聞けない？「あいネットって何してるの？」など、ありましたら、ぜひ声をかけてください。よろしくお願いします。



平成26年 第2回連絡調整会議

年2回開催の連絡調整会議では、テーマについての意見交換に加え、2回目は今年度の報告（中途）をすることになっています。今回のテーマは、来年度本格施行の生活困窮者自立支援法についてです。

福祉総合相談としての広報はしてきていますが、生活困窮者支援についてはこれからというところがあり、あいネットでも名刺サイズのチラシを作成中です。困窮状態にある方は自らSOSを出しづらく、困窮状態が極まってから発見されることがしばしばあり、早期発見・相談が大切です。この会議でもその視点で、今まで出席いただいている課に加え、4課ほど増やして早期発見につながるよう強化していく意見をいただきました。

この文を書いている今はプロポーザルを控えているところですが、4月に全国で一斉に始まる相談事業として、効果・成果も求められていきます。より一層、関係課・機関・地域とのつながりを作ることの重要性を感じた会議でした。



柏市非営利団体連絡会 かしわ 柏うぉ～か～

今回の取材先は「柏市非営利団体連絡会」。代表の堀田さんにお話を伺いました。



柏市非営利団体連絡会とは？
柏市内で有償のたすけあい活動を行っている15の団体の連絡会です。住民互助型の有償在宅福祉サービスを提供する大小さまざまなたすけあい団体が、情報交換しあい、ゆるやかに連携しています。各団体とも、こまった時に気がねなく利用できるように、そして責任を持って応じられるように有償にしています。営利目的ではない低料金のサービスです。

連絡会設立に至った経緯を教えてください。
まだ介護保険が始まっていなかった頃、住民同士「こまった時はおたがいさま」の気持ちで助け合おう、というグループがいくつか生まれていました。介護保険制度がスタートするという時期に、制度でカバーできない部分も柔軟に対応できるたすけあい団体が、横に連携しようということで集まったのがこの連絡会です。

～各団体会員での研修会の様子～



たすけあい活動をしていて、思っていること、感じていること等を教えてください。
15もの団体が揃うと特色もさまざまです。家事援助や通院介助などの他に、庭木剪定、大工仕事、旅行付き添いなどを得意とする団体もあります。自分たちの団体で対応が難しい時に、ただお断りするのではなく、応じられそうな他団体を紹介する、という具合に、団体同士が協力し合っています。各団体とも、利用者さんの笑顔、ありがたいの気持ちがうれしくて頑張っています。

最後に一言お願いします。
高齢者に限らず障害をお持ちの方、子育て中の方など、ちょっとした手伝いを頼みたいという人がとても増えています。それに応えるサービス提供者がたくさんいないと、地域のたすけあいが成り立ちません。元気なうちに、できる範囲で、手伝ってみようかなという人が増えることを願っています。

◆◆柏市非営利団体連絡会の合同パンフレットが、市役所高齢者支援課などの窓口にあります。民生委員やケアマネージャー、地域包括支援センターからも情報が得られます。

堀田さん、取材に協力して頂きありがとうございました。



協力会員の方、大募集中です！興味のある方、まずはお電話下さい。

<問い合わせ> 柏市非営利団体連絡会 代表：堀田 TEL:04-7134-9538



※<お詫びと訂正> 先月号のか柏うぉ～か～の記事の中で、名前の訂正がございまして。ポラリス理事長：岩屋さんではなく正しくは岩谷さんです。大変申し訳ございませんでした。

お知らせ こちらのコーナーへ掲載希望の方はあいネットまで

チャレンジド・ミュージカル10周年記念公演
～「ONGERA(オンゲラ)」万歳～
[市川公演]日時：2015年4/4(土) 15:00～ 4/5(日) 11:00～ 15:00～ (会場：市川市文化会館小ホール) 入場料：[前売]大人2000円 学生・障がい者等1000円 お問い合わせ：特定非営利法人いちかわ市民文化ネットワーク TEL&FAX(共通) 047-711-8813
[佐倉公演]日時：2015年4/12(日)13:00～ (会場：佐倉市民音楽ホール) 入場料：[前売]大人1500円 学生・障がい者等1000円 親子券2000円 お問い合わせ：手をつなぐ・さくら伊藤 090-3577-2125 浦 090-8587-0814 寺田 090-4175-4059 チャレンジド・ミュージカル

検索